

令和5年度実施
休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行
についてのアンケート調査結果について



九重町部活動地域移行検討委員会
～令和 6 年 3 月～

令和5年度 中学校休日部活動の地域移行に関するアンケート調査の結果

はじめに

大分県は、令和5年3月に令和7年度末までに休日の学校部活動を地域へ移行する方針を策定しました。九重町においても、国のガイドラインや県の方針に則り、令和5年10月に「九重町部活動地域移行検討委員会」を設置し、令和7年度末までに休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けて取り組みを推進することといたしました。しかしながら、休日の学校部活動の地域移行に際しては、地域によって実情が異なるため、一様に進めることは困難であります。また、移行を進めるにあたっては、いずれの地域においても①指導者の確保②受け皿団体の確保③会費(受益者負担)の理解といった3つの共通課題が存在しています。

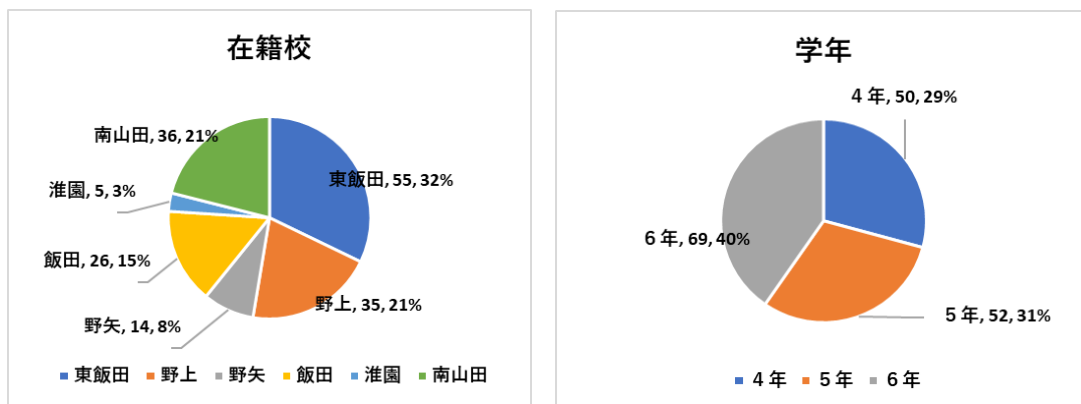
そこで、検討委員会では、児童生徒・保護者・教職員のニーズを把握することで、九重町の実情に合った方法で課題解決を図るとともに、九重町の子どもたちの休日の活動の場の保障と教員の働き方改革を推進することを目的に本アンケート調査を実施いたしました。

今回の調査では、期限までに多くの方に回答をいただきました。ご多忙中にも関わらず、ご協力いただいたことに感謝いたします。全ての回答について、検討委員会で分析し、今後の移行の在り方を検討する上での参考資料として活用いたします。また、少数意見についても尊重し、九重の子どもたち、子どもたちに携わるすべての人にとって充実した取組の実現を目指します。

I. 小学生対象アンケート

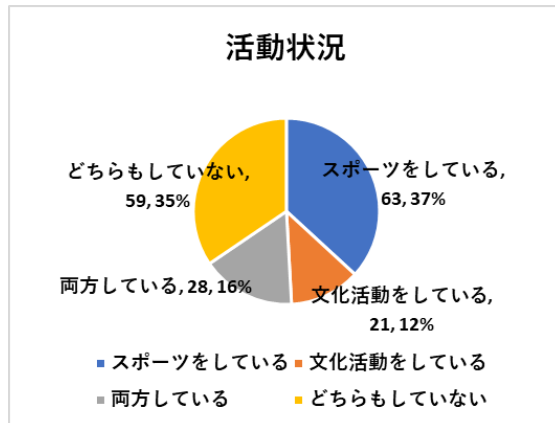
◎調査期間:2024.2.13(火)~2024. 2. 22(木)
◎調査対象:九重町立小学校4~6年生児童 合計202名
◎回答状況:171名 (回答率:85%)

1. 回答した児童の在籍校及び学年



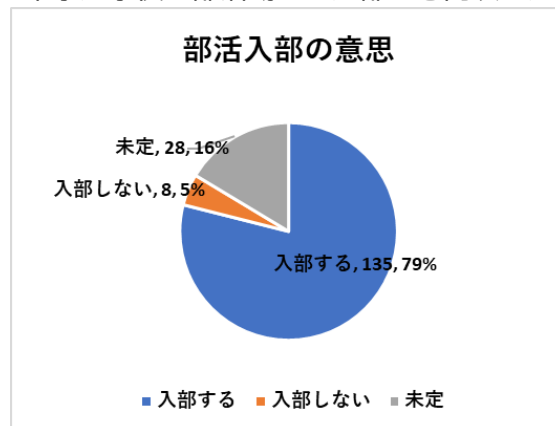
九重町内6小学校より、合計171名の児童に回答いただきました。学年別では、小学校6年生による回答が最も多く、69名(40%)の児童から回答がありました。

2. 現在の活動状況(社会体育・文化芸術活動)



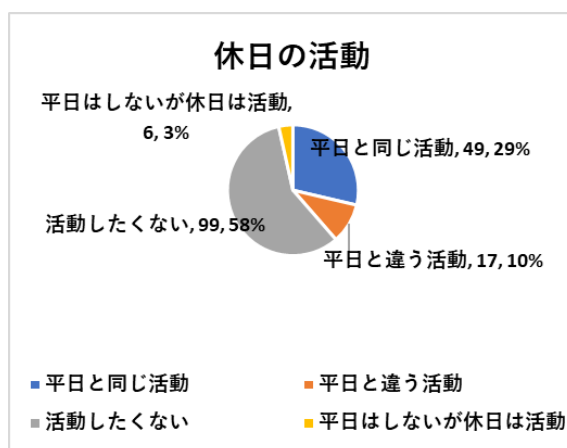
回答した小学校児童(4～6年生)の内、37%が「スポーツ活動」、12%が「文化芸術活動」、16%が「スポーツ・文化芸術活動の両方」に取り組んでいます。約65%の児童が何らかの社会教育活動を経験していることになります。一方、35%の児童はとくに活動を行っていないため、中学入学後の部活動がスポーツや文化芸術活動への出会いの場となります。

3. 中学入学後の部活動への入部の意向及び入部予定部活動



中学校入学後に部活動に入部しようと考えている児童は135名(79%)でした。約8割の児童が部活動への入部に前向きです。また、入部希望者が希望する種目については、運動部では卓球(男女)、野球、サッカーが上位を占めました。文化部は美術部への入部を希望している児童が多いことが分かりました。

4. 休日の活動への参加



休日の活動についての意識調査では、「活動したくない」と回答した児童の割合が最も高く、99名(58%)に上りました。半数以上の児童が、休日は家で過ごしたいと考えていることが分かりました。一方、49名(29%)の児童は休日も平日と同じ活動を、17名(10%)が平日と違う活動への参加を希望しています。多様なニーズに応えるためにも、少数意見を尊重した対応が必要となります。

5. 休日にしてみたい部活動以外の活動(記述式)

- ダンス(18) ■アウトドア体験(16) ■ドッジボール(11)
- バドミントン(5) ■スケートボード(4) ■チームタデ原(4)
- みんなで楽しめる遊び(3) ■写真(2) ■鬼ごっこ(2) ■硬式野球(2)
- キャンプ(1) ■撮り鉄(1) ■スケート(1) ■ケイドロ(1)
- e スポーツ(1) ■プログラミング(1) ■地域のボランティア活動(1)
- 将棋(1) ■自然を守る活動(1) ■くじゅう自然学(1) ■鉄道少年団(1)
- 宝石採取(1)

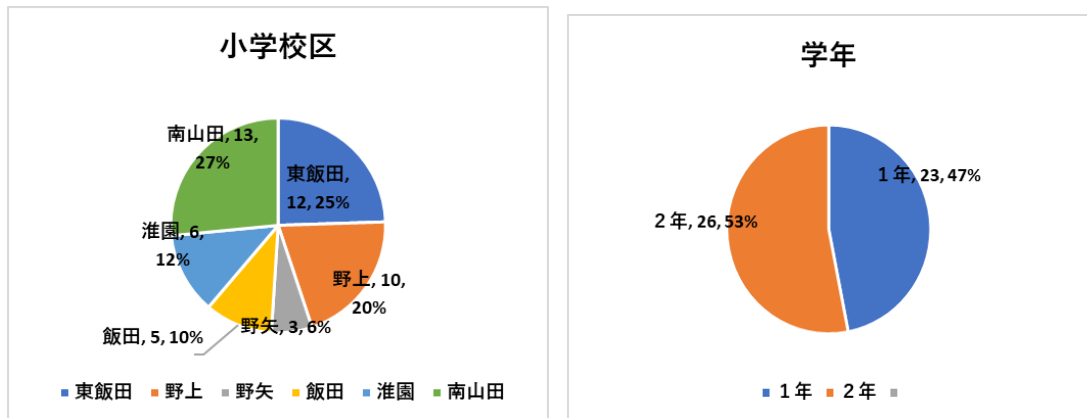
6. 休日の活動について(自由記述)

- 楽しいことをいっぱいしたいです。
- アウトドア体験でキャンプがしてみたい。
- 野球をいっぱいしたいです。
- 外部のコーチに専門的な知識を教えてもらいたいです。(サッカー)
- 休日の活動ではないけど部活にバドミントンやドッジボールなどがあれば入りたい。
- 平日と同じことがしたい。野球部だったら平日は練習、休みの日は試合がいい。
- 休日はゆっくり過ごしたいので、簡単にパパッと終わる活動がいい。
- 土曜日も日曜日も部活があると疲れが取れないし、ストレスがたまる。あるとしても土日のどっちかにしてほしい。お昼までとかにしてほしい。
- 午前中だけがいいです。
- 休日はゆっくりしたいしずっと遊びたい。
- 部活動は何時までですか。(2)
- 休みはゆっくりしたいです。
- 休みたい日もやりたい日もあります。
- 休日は活動をしたくないです。
- 休日にも活動があるのは少し不安。
- 休日の部活(試合以外)を無くしてほしい。

Ⅱ. 中学生対象アンケート

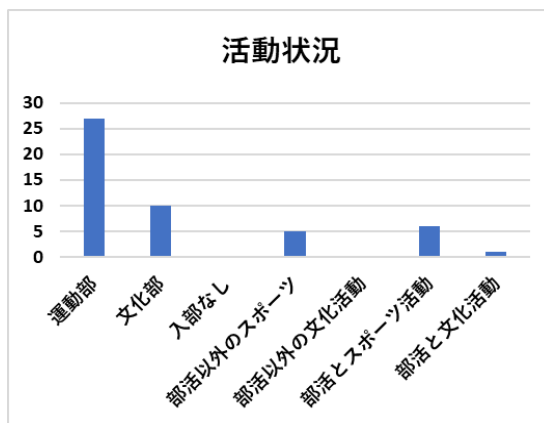
◎調査期間:2024.2.13(火)~2024. 2. 22(木)
◎調査対象:九重町立このえ緑陽中学校1・2年生 合計134名
◎回答状況:49名 (回答率37:%)

1. 回答した生徒の校区及び学年



中学校 1・2 年生からの回答は合計49名でした。対象の生徒にとっては、休日の学校部活動が地域へと移行されることについて関心は高くないようです。令和8年度より完全移行となることから、直接関係ないと感じた生徒がいたことが回答率に影響したと考えられます。

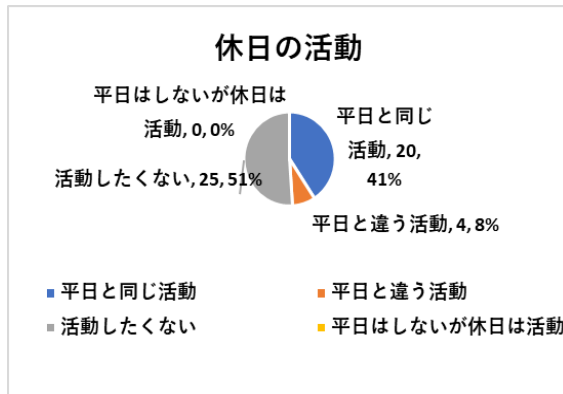
2. 現在の活動状況(部活動・社会体育・文化芸術活動)



回答した中学校生徒(1・2年生)の内、55%が「運動部」、20%が「文化部」、10%が「部活以外のスポーツ」、12%が「部活動と部活以外のスポーツ」、2%が「部活動と部活以外の文化芸術活動」に取り組んでいます。

また、約 4 分の1の生徒が、何らかの社会体育・文化芸術活動に参加していることが分かりました。

3. 休日の活動への参加



休日の活動についての意識調査では、「活動したくない」と回答した生徒の割合が最も高く、25名(51%)に上りました。小学生同様、半数以上の生徒が、休日は家庭で過ごしたいと考えていることが分かりました。一方、20名(41%)の生徒は休日にも平日と同じ活動を希望しています。既存の部活動に対するニーズが中学校では高い傾向にあります。

4. 休日に行いたい部活動以外の活動(記述式)

- | | | | | |
|-------------|--------------|------------|-----------|------|
| ■ バドミントン(2) | ■ スキー・スノーボード | ■ 映画鑑賞 | ■ スケートボード | |
| ■ 囲碁 | ■ 将棋 | ■ 料理・お菓子作り | ■ 演劇 | ■ 登山 |
| ■ 理科学系の活動 | ■ アウトドア体験 | ■ ダンス | ■ 家族との時間 | |

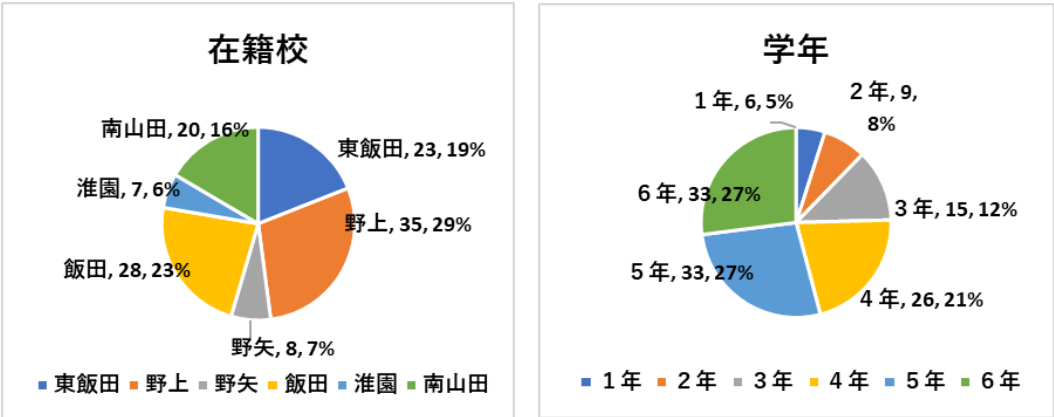
5. 休日の活動について(自由記述)

- 試合前やテスト前などは状況に応じて活動してほしいです。特に、テスト前は1週間は時間を作ってほしいです。
- 休みの日はとにかく家でゆっくりしたいです。
- 送迎が大変なので、月替わりか隔週で居住地区のグラウンドや体育館で行ってほしい。玖珠近辺だと送迎できないので参加できない。もしくは中学の送迎バスで行ってほしい。
- 休日に中学校の部活動を地域委託していく事について思う事がいくつかあります。① 中学校、先生方が部活動に対してどのような考えをもち生徒のクラブ活動のレベルをどの基準にするのか。地域委託によりクラブ活動の内容から県大会を目指し、国体を目指すなどレベルが上がり、本来はたのしくクラブ活動をやっていきたいと思っている生徒がいると思います。地域委託によりレベルを上げたい生徒とついていけない生徒が必ずでできます。中学校側と地域側の両方でエビデンスをしっかりと進めて行く必要があります。② 中学校から地域移行になる事でいくつかの団体が合わさると思います。同じビジョンなどを持つ事も大切だと思います。またさまざまな行事や活動内容、試合、遠征など、、、のシステム共通のため組織である母体が必要だと思います。中学校と地域の間には部活動の組織団体をつくり保護者や学校関係者や地域の方々の共通の窓口を作ってください！
- 部活がない日は家族の時間を大切にしながら、いろいろな体験をしてもらいたい。
- 平日と同じ活動をしたい人は同じ活動をできるようにして、違う活動をしたい人は違う活動をできるようにしたらいいと思います。

Ⅲ. 小学生保護者対象アンケート

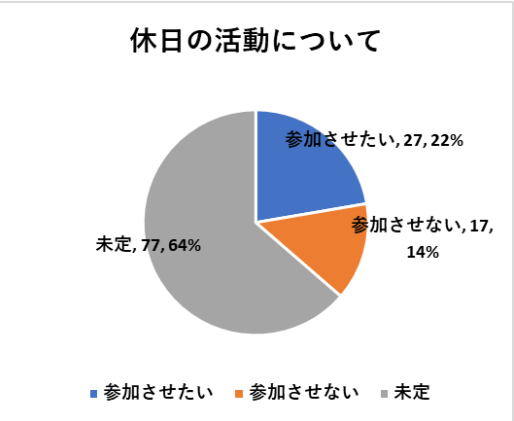
◎調査期間:2024.2.13(火)~2024. 2. 22(木)
◎調査対象:九重町立小学校保護者(長子)(児童数378人)
◎回答状況:121名

1. お子様の在籍校及び学年



九重町立小学校より、合計121名の保護者の方から回答をいただきました。学年別では、実際の移行期間に関係する4年生以上の保護者からの回答が全体の75%を占めました。

2. 休日の活動への参加の意向(送迎や費用が保護者負担となった場合)



休日の活動が保護者の負担となった場合、「参加させたい」と回答した保護者は27人(22%)、「参加させない」と回答した保護者は17人(14%)、「未定」と回答した保護者は77人(64%)でした。移行後の運営や保護者の負担が実際にどれほどのものになるかが不透明であることから、「未定」と回答した保護者が半数以上を占めたと考えられます。回答別の理由については以下の通りです。

【参加させたい】

- ・せっかくするのであれば、とことんさせてあげたい。(淮園6年)
- ・学生の時にこそできる経験だから。(飯田小6年)
- ・休日に家でダラダラ過ごすより、友だちと一緒に体を動かし活動できた方が、いろいろな経験ができて良いと思うから。(野上5年)
- ・本人が技術を磨きたいなら他地域との試合を経験するのも必要だから。(飯田4年)
- ・親の負担になるかもしれないが、子供がやりたい事は応援してあげたいから。(飯田5年)
- ・何もしない休日の過ごし方に不安を感じるので、少しでも活動して実りある生活をして欲しい。(南山田3年)

- ・子どもがやりたいことならやらせてあげたいと思うので。(南山田3年)
- ・子どもがしたいことなら協力したいから。(東飯田3年)
- ・大会など土日にあると思うので。(東飯田6年)
- ・地域の人とコミュニケーションを図ってほしいです。また家にいるとゲームばかりします。(野矢4年)
- ・子どもがやりたいことなら送迎や月謝がかかっても通わせたい。(野矢6年)
- ・本人が希望するなら参加させたいし、休日なら送迎や応援などにも行けるから。(野上5年)
- ・子どもがやりたいことで親ができることはしてやりたいから。(野矢3年)
- ・体力向上の為。(野矢6年)
- ・現時点で、部活動参加を楽しみにしており、出来る範囲で応援してあげたいと思っています。ただ、兄妹がいる為送迎は今まで通りバスが利用出来れば助かります。(野上5年)
- ・身体を動かせたい。(淮園6年)
- ・本人がやりたいと希望すれば、やらせてあげたいと思うから。(野上4年)
- ・参加はさせたいが、負担がどの程度になるのか。指導者の方針など、不安な面がある。(野上5年)
- ・ずっとやり続けたいというスポーツがあるから。(野上5年)
- ・せっかく部活をするなら実りあるものにしてほしい。(野上6年)
- ・子どもがやりたいことであれば協力して取り組ませたいと考えているから。(野上5年)
- ・いろいろ体験してもらいたいから。(野上4年)
- ・現在も地域クラブに加入していて、そこでも保護者送迎、参加費負担をしているため。(野上6年)
- ・野球をしているから。(野上4年)

【参加させない】

- ・仕事で送迎が難しい日もあるため。(東飯田6年)
- ・休日にかかる費用(会費)を払えないと思うのと、送迎を保護者が負担となると私は無理です。(東飯田5年)
- ・今スポーツをしているのでそちらの方に行くと思う。(東飯田1年)
- ・すでに現状でスポーツをしており、既存のスポーツクラブに所属しているので、新規で受け皿を作る必要性を感じない。(飯田3年)
- ・休日でも仕事や兄弟の行事などがあつたりするので、参加させたくても参加させられない。(東飯田1年)
- ・楽しい運動なら良い。学校と指導が違っていると子どもがかわいそう。目標があるなら参加したい。子どもがしたいと思うなら。(飯田6年)
- ・内容、場所にもよるが、飯田からの送迎は、仕事をしていると難しい。地域クラブ活動とは？何をするのか、内容も、よくわからないので、アンケートを取る前にもう少し詳しく教えてほしかった。(飯田6年)
- ・送迎が簡単にできる距離ではない事、休日が仕事である場合など親の負担が多くなると無理がある為。(飯田3年)
- ・学校の取り組みでは無いし、毎回送迎は出来ない。(飯田3年)
- ・土日仕事なので送迎も応援もできないため。(飯田5年)
- ・部活動をさせてあげたい気持ちも多いにありますが家事育児仕事をしていると、休日は正直ゆっくり休みたいです。送迎も車で何十分という場所になると思うので個人的にはきつく感じてしまいます。(飯

田1年)

- ・土日祝日が仕事のため送迎など無理。(南山田6年)
- ・休日は、家族や友人たちとの時間を過ごして欲しいからです。(野矢3年)
- ・毎回の送迎が難しいから。(淮園4年)
- ・他の親と揉めたくない。特に金銭面。(野上5年)

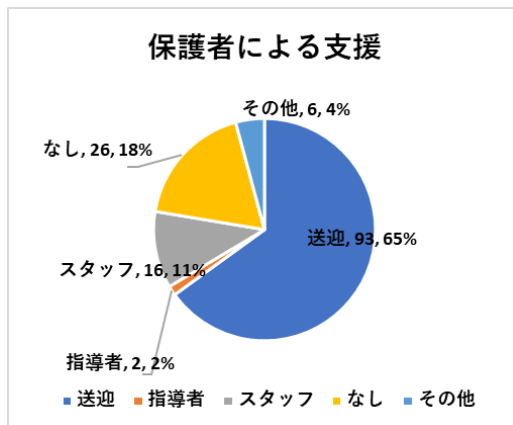
【未定】

- ・中学校以外での活動は送迎が難しい。スクールバスがあると助かる。(南山田3年)
- ・いつも休日が休みとは限らないため送迎が難しい。(東飯田6年)
- ・スクールバスが利用できないならば、休日の活動は悩む。(東飯田6年)
- ・送迎が負担です。(飯田6年)
- ・仕事で送迎ができない時があることや、中学・高校とお金がかかるから。人数が少ないので、必ずしもしたい部活があるとは限らないから。(飯田4年)
- ・①会費がかかるとなるとしっかりした内容での活動でないといけない、そうでないと納得いかない。②学校の活動の一部であればスクールバスが望ましいです。納得のいかない部活となればなおさらです。(東飯田5年)
- ・今までのようにスクールバスがあり、本人がしたいのであれば休日の活動もありかなと思いますが、毎回保護者の送迎となると厳しいかなと思うので悩むところです。また、月額が発生するのであれば、内容のある活動にして頂けたらと思います。(南山田5年)
- ・そもそも、休日に部活動をする必要があるのでしょうか。他校との試合等は仕方ないと思います。(南山田2年)
- ・本人の希望によるが、送迎等できる範囲で支援したいと思う。(東飯田6年)
- ・費用、活動場所、指導者、送迎、ケガや事故の対応、責任の所在が分からない。(野上6年)
- ・送り迎えなどの問題。(東飯田3年)
- ・仕事があるときがあるので。(飯田小5年)
- ・費用がかかるのと保護者の送迎。(南山田4年)
- ・今の状態が大変なのは分かるが、顧問が平日と休日で変わるのは、同じ部活をするけども、全く違うものになると思ってしまう。(飯田5年)
- ・何かさせたいけど、親の送迎や親が出ることが多かったら仕事に支障が出る。(南山田4年)
- ・休日仕事があり、送り迎えが難しい。(飯田小2年)
- ・地域移行後にスポーツ時の安全を確保できるか心配なため。(南山田小5年)
- ・上の息子が中学生で、すでに地域のスポーツクラブに入っています。まだ、移行の段階で、良い面も大変な面もあります。小学生の子どもは、どんなスポーツがあるのか、部活も何をしたいのか決まっていないので、分からないで回答しました。(飯田5年)
- ・仕事上、休日が休みとは限らず部活での送迎ができない。また、コミバス利用も現状の土日の運行状況では、利用できない。(飯田6年)
- ・どのような活動があり、その中に子どもがやりたい事があるのか不明な為。(飯田1年)
- ・子どものやる気というところもありますが、費用も負担額が多いと考えますし、送迎距離が長いと保護

- 者の負担が大きくなるので迷います。(飯田5年)
- ・親と一緒にいけない場合があり、毎回参加必須のようになってきたら厳しいかと思う。平日宿題もかなり時間がかかってやっているので、週末に疲れがたまると平日の勉強が不安。(南山田2年)
 - ・仕事の都合(土日出勤等)(東飯田3年)
 - ・会費は必要であれば支払うが、送迎は休日仕事の場合もあり、下の子を留守番させて送迎するので、大変だと思う。(飯田5年)
 - ・仕事で送り迎えが難しいかも…と思いました。(飯田1年)
 - ・指導者がもし足りない場合になって欲しいと言われても難しいし、費用の負担がどの程度なのかわからないため。(南山田2年)
 - ・子どもがしたいなら、させてあげたいけど、休日の送迎は、仕事があるので難しいのが現状です。(南山田6年)
 - ・費用負担は問題ないが、土日祝祭日も両親が仕事であることもある。送迎や対応が必要な場合、休ませるしかない。(野上5年)
 - ・どういう形になるかわからないので、その時に判断したい。しかしながら、本当は部活動をしてほしいとは思ってます。(東飯田4年)
 - ・休日仕事のこともあるため。(東飯田5年)
 - ・できる限り送迎するようにしたい。(野上5年)
 - ・仕事があるため、送迎等ができません。スクールバス等の対応が無ければ厳しいです。(東飯田3年)
 - ・本人の気持ち次第。(野上5年)
 - ・費用、時間、保護者同伴かどうか等の条件による。(東飯田5年)
 - ・時間や費用、保護者同伴か等の条件次第。(東飯田5年)
 - ・休日部活動が地域移行になるには、課題が大きすぎて何とも言えません。地域の指導者がいる部活とない部活ではどうなるのか、賃金面、先生との連携、子どもの学習面や生活面の状況把握、なぜスクールバスでの送迎ではなくなるのか、指導者には十分な賃金が支払われず、結局ボランティアでしていただく事になるのではないかと、そうになったら申し訳ない、そもそも指導者を確保できるのか、保護者からの集金が指導者の賃金になるのは、直接すぎて色んな問題が起きるのでは、などなど。(野上5年)
 - ・個人で、通える習い事等に行かせようかとも、思っています。(野上4年)
 - ・土日が仕事なので送迎出来ないから。(野上6年)
 - ・部活動の内容にもよるためまだよくわからない。(野矢4年)
 - ・部活動の内容にもよるが文化部であれば無理に参加させなくても良いと思うが大会やコンクール前に子どもが参加したいといえばその意見を尊重したい。(野矢6年)
 - ・会費は仕方ないけど、送迎してもらいたい。(野上6年)
 - ・家族で用事があったり、子どもも参加したくないと言うから。(野上5年)
 - ・現在の中学校部活動の範囲内でしていただければ良い。中学校生活は部活動だけではないので休日まで部活動しなくてもよいのではないかと。(淮園6年)
 - ・子どものしてみたいという活動があるかないかによるから。(野上6年)
 - ・子どものしてみたいという活動があるかないかによるから。(野上2年)

- ・そのときの本人の気持ち次第。(野上5年)
- ・送り迎えが大変。(野上4年)
- ・状況次第で検討させていただきます。仕事の都合もあるので。(野上5年)
- ・中学校までの送迎は出来ると思うが、練習試合や大会などで郡外への送迎となると保護者の負担がかなり大きいので迷っている。(野上5年)
- ・ということなのか、想像がつかず分かりません。(野上4年)
- ・基本的には参加させたいが、会費の価格によると思う。(野上4年)

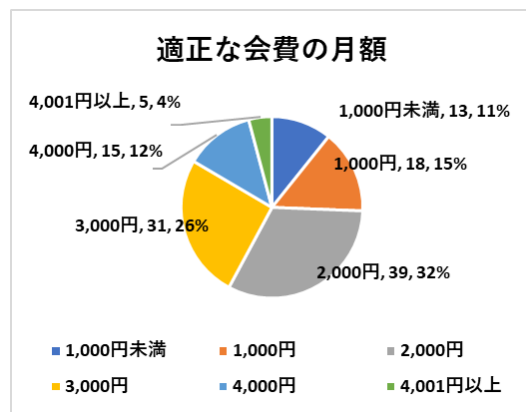
3. 保護者による支援



休日の活動における保護者としてできる支援については、「送迎」が最も多く、93人(65%)でした。しかしながら、前記の記述回答からも明らかなように、多くの保護者が「送迎」に困りを抱えていることも事実です。

また、「指導者」や「スタッフ」として支援可能な保護者は合計18人(13%)でした。現段階では、地域移行後のクラブ活動への保護者の参画は難しい状況にあると言えます。

4. 適正な会費の月額(月4回、1回3時間程度の活動)



移行後の活動にかかる適正な会費の月額としては、「2,000円」が最も多く、39人(32%)でした。次いで「3,000円」が31人(26%)、「1,000円」が18人(15%)という結果となりました。また、13人(11%)の保護者が「1,000円未満」と回答していることから、休日の地域クラブ活動にかかる会費は可能な限り低廉であることが望ましいと考えます。

5. 地域移行について(自由記述)

- 正直、よく分かりません。(東飯田6年)
- 学校側が活動の把握ができるか心配。スクールバスの利用ができず保護者送迎が増えるのが心配。勝利を目指すならしっかり練習できる体制がある方がよい。(東飯田6年)
- コミュニティバスで子どもだけで移動が可能なら参加できる人が増えるかもしれません。(飯田6年)
- 地域移行は、先生の負担を減らす事と外部コーチのサポート等にとどめていただき、組

織、費用等は町にお任せできたらありがたいです。(飯田4年)

■実際学校現場の先生方の負担を考えると地域移行はとても良い事だとおもいます。ただふさわしい指導者を確保するのは簡単ではないことです。ですが子ども達に良い経験・環境はとても素晴らしい事です。行政も一緒になって子ども達の未来の為に素晴らしいプログラム作り・外来の指導者も視野に九重町から色んな分野で活躍できる環境になればきっと保護者方も協力すると思います。(東飯田5年)

■中学生の子どもがいないので、現状がどのように行われているのか想像が付きませんし、困り等もわかりません。現状等をふまえた誰がみてもわかりやすい文書を頂きたいです。(南山田2年)

■休日は休みにする・顧問の問題であれば地域の方に依頼・場所は中学校だと良いグラウンド、部室等あるのに使用しないのはもったいない・学校だと送迎も便利(東飯田6年)

■平日と土日の活動が全く別の指導者になることに、子どもたちが戸惑いそうです。現時点で何も具体的なことが示されてないのに、意見を求められても答えようがない。(野上6年)

■施設や環境が揃っているスポーツが残って行くのではないかと予測します。(飯田3年)

■地域移行はいいと思います。ですが、教員の業務負担軽減を目的とした部活動地域移行によって保護者の稼働時間がこれ以上増えるのであれば、時間の確保が難しいので気持ちよく賛成できない。(東飯田1年)

■実際に部活をするのは子ども達なので、最終的に子ども達が楽しく前向きにできれば問題ないと思います。(飯田5年)

■よい指導者の確保や技術向上のため、指導者やスタッフへの報酬を十分に払って欲しい。(南山田5年)

■保護者の手を借りないと活動できないのならば、断念せざるを得なくなる。(飯田6年)

■平日の部活と休日のクラブチームの指導者の方針や、指導が違いすぎると上手く行かないような気がします。中学と地域の連携が必須だと感じます。また、練習場所の確保や大会等の参加がきちんとできるようになれば良いなと今実感しています。クラブチームの指導者はほぼボランティアで熱心な先生方が多いので感謝していますが、きちんと移行できたら県からの補助や、先生方の交通費や報酬が支払えるようになると良いなと思います。色々な中学校の生徒たちと交流し、休日ですが、今息子は楽しくクラブチームに参加出来ています。早くきちんと移行、活動できる事を願います。宜しくお願いします。(飯田5年)

■都会は指導者などがたくさんいるので可能な取り組みだと思いますが、田舎では人も少なく指導者を確保するのがどこも厳しいのではないかと思います。(野上5年)

■学校の行事等が配慮されて大会等に参加するのか、取り決めがあると良いと思う。(テスト前、修学旅行等)。大会会場の送迎時、自家用車で事故等が不安である。引率者など保護者の対応も仕事で難しい日もある。(飯田6年)

■中学校の部活動は、将来にかなり関わる期間になるのに、地域移行にする事で個人の

レベルがきちんと上がって行くのか疑問に感じます。先生の負担を減らす等は理解できます。が地域に移行してしまえば、地域の活性化ができていない町はどんどん子どものレベルが下がり、地域が活性化しているところとの差が大きく広がる気がする。(南山田2年)

■送迎バスが出るのなら休日の部活も考えたいが現状で親が送迎になると負担です。(飯田3年)

■平日は部活動で、休日は指導者が他の方になるということですか？平日は部活動、休日は別の活動になるんですか？それとも平日の部活動はなくなり、休日だけになるのですか？無知で申し訳ないですが、よくわかりません。(南山田5年)

■地域で健全な青少年の育成をしていけるので良いことだと思う。指導者には必ず、報酬を払うべきだと考えます。(南山田3年)

■休日に学校部活動の地域移行ということは、平日はどういうふうになるのか？平日も地域の指導者が部活指導をするのか？それとも、平日は教員が部活指導をするのか？それとも、地域の指導者と教員が連携して部活指導をするのか？そのあたりがこのアンケートではよくわかりませんでした。また、休日に部活を地域移行するためには指導者が居なければ成り立たないと思うが、指導者の確保はできるのか？その指導者の人格もちゃんとした方なのか、気になります。他県の学校で地域指導者の体罰問題もたくさんあります。監督に意見を言えない雰囲気苦しんでいる他県の事例を知ると、不安になります。(飯田5年)

■先生達の負担を考えたらこういう流れになるのは仕方ない事だと思います。(東飯田3年)

■保護者の負担が大きくなるのであれば、考えていただきたい。(東飯田3年)

■地域の教育に関わることなので、教育委員会の管理下で責任ある指導を行ってほしい。(東飯田5年)

■指導者には十分な賃金を国や地方公共団体から支払ってほしい。保護者からの集金を指導者の賃金にするのは、お互い気持ちが悪く嫌なのではないかと思う。また、保護者としては、部活の道具などでお金がかかるのは分かるが、本来無償なはずの義務教育の段階の部活で、保護者が指導者に賃金を支払うのは、何かおかしい感じがする。なので、Q7 の適正な賃金もとらずに答えただけで、実際は分からない。保護者からの集金を指導者の賃金にするのであれば、部員の人数の多い少ないによって、集金の額も違うようになるのではないか、そのようなことはおかしいのではないか、など問題山積だと思う。指導者の賃金があまり低すぎても成り手が見つからないだろうし、かと言って、このアンケートのように保護者からの集金を指導者の賃金にすると、集金が高すぎると今度は部活に入る子どもが少なくなるのではないかと懸念される。このアンケートには1日3時程度としているが、結局土日には試合や遠征が入ると思う。その結果指導者は1日時間を拘束されることが多くなると思う。結局、指導者が半分仕事のような感じで取り組まなければならなくなる。また、レギュラーなどは誰が決めるのかなど、先

生との連携もある。部活を地域移行するのならば、国や県はしっかり指導者に賃金を支払う覚悟を持ってほしいと思う。(野上5年)

■部活動に使う、ボール等、道具など、費用面においても、指導者が、なかなか、九重町には、いなさそうなので、部活動を地域で、行うのは、かなり大変だろうと思います。どなたか、役場の方など、第三者の方が入ってくれる方が、人間同士のトラブル等を防げるのかなあとと思います。(野上4年)

■指導者が学校の先生ではなくなるので、指導の内容や平等とか勝ち負けなどに片寄る人も出てくると思うので、心配です。(野上5年)

■土日一部活動しなければ良いのでは？平日だけで充分だと思う。(野上6年)

■基本的に、休日の部活には積極的な気持ちを持っていません。子どもがその活動に熱心な場合を除いて、地域移行への関心はとても薄いです。学校活動のみに縛られるのではなく、子どもには幅広い分野に興味を持って欲しいです。(野矢3年)

■地域移行後、指導者がいない部活はどうなるかなど具体案を出した後にまた、アンケートをとってほしい。会費も部費とは別になると保護者負担も大きくなると思います。(野矢6年)

■子どもたちが満足して部活ができる環境を整えてほしい。(野矢3年)

■地域移行できる部活もあると思いますが、できない部活はどうしますか？(淮園4年)

■是非お願いしたい。(野矢6年)

■家庭を持つ者の意見として、多忙過ぎる先生方の負担を減らす事は大変良いことだと思います。土日の部活動以外にも、先生方の負担をどんどん減らしていったら、先生方の家庭も大切にして欲しいと思っています。一方、地域移行する事で、部活動の質が下がる事はないだろうかという不安の声を周りの保護者からも聞きます。息子も、部活動参加を楽しみにしており、一生懸命取り組みたいと思っている様ですので、私としては一生懸命取り組める環境で部活動をさせてあげたいと願っています。地域移行に関して現時点では何も決まっていない状況ですので何とも言えませんが、子どもが希望するのであれば状況によっては、部活動ではなく、地域のスポーツクラブ等の利用等も悩んでいるところです。

※現在の部活動では、クラブチームに入る子が多く、部活動の人数が少ないところがあると、緑陽中でも、他校でも耳にします。いろんな状況があるとは思いますが、今後どんどん子どもの数は少なくなると思われる中で、同じスポーツ(に限らずですが)をしたくても、人数が足りずに出来ない子、クラブチームで出来る子、もいると思うと少し悲しくなります。スポーツクラブも考えている身ですが、皆が平等に、とは難しい事なのかもしれませんが、子ども達が同じスポーツをするなら皆で出来るのが理想かもしれません、、、(野上5年)

■九重町内に地域移行できる団体があるか？生徒数も減少しており、部活も合同チームになったりと団体スポーツが出来にくい状況で単独校での地域移行は難しいのでは。日田市の過疎地域では行政からタクシーを出して習い事などの送迎をしていると聞き

ました。地域移行するならば、保護者負担もあるでしょうが、行政としてサポートは必要かと思います。子供達にスポーツする環境を町として取り組んでいただきたい。(淮園6年)

■良いと思います。部活動の成績が良くなることも大事だとは思いますが、九重町の知名度をアップさせるためにも有名な人を広告塔にすることも大事だと思います。(淮園6年)

■教員の働き方改革につながるなら、いいと思います。今まで、先生方のボランティアで成り立っていたことが申し訳ない。(野上6年)

■適切な会費に関しては、生徒数で割る事となるので幾らが妥当になるかわ解りかねます。(野上5年)

■今の部活動時間よりも活動時間が少なくなるなどの制約がつかないように調整してほしい。部活動の指導者が先生ではなくなるので、活動中に問題(いじめ、けが等)が発生した場合に相談できる窓口や対処方法などもきちんと決めて周知してほしい。(野上5年)

■指導者など、有資格者、経験者等は確保できてるのでしょうか?(野上4年)

■第一子で、現在の部活の様子もよく分からず、さらに地域移行すると実際どのように変わるのか、さっぱり分かりません。(野上5年)

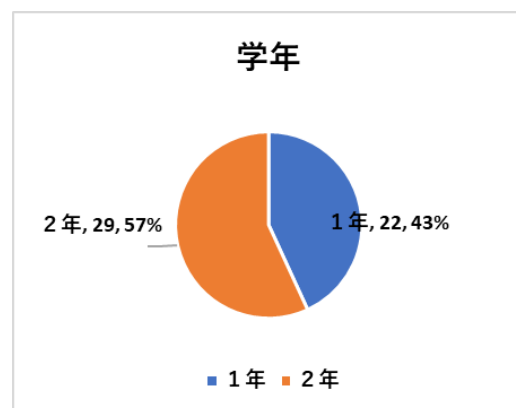
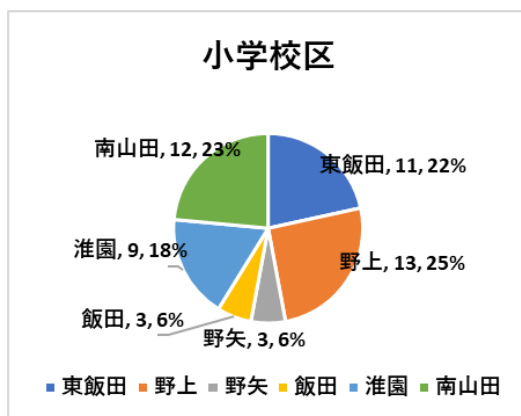
IV. 中学生保護者対象アンケート

◎調査期間:2024.2.13(火)~2024. 2. 22(木)

◎調査対象:九重町立このえ緑陽中学校1・2年保護者(長子) (生徒数135人)

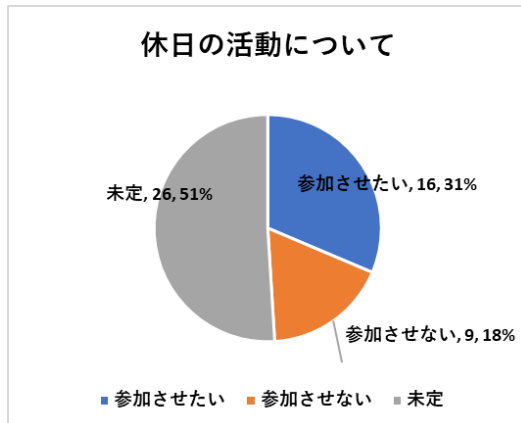
◎回答状況:51名

1. 小学校区及び学年



九重町立このえ緑陽中学校より、1・2年生の保護者合計51名の方から回答をいただきました。学年別では、2年生の保護者29名(57%)、1年生の保護者22名(43%)の割合となっています。

2. 休日の活動への参加の意向(送迎や費用が保護者負担となった場合)



休日の活動が保護者の負担となった場合、「参加させたい」と回答した保護者は16人(31%)、「参加させない」と回答した保護者は9人(18%)、「未定」と回答した保護者は26人(51%)でした。約半数の保護者が「未定」と回答しており、小学校同様、移行に関する具体的な内容が不透明な点が課題であると捉えます。回答別の理由については以下の通りです。

【参加させたい】

- ・本人がしたいと言うから。(東飯田1年)
- ・部活を楽しんで頑張っているので、好きな活動を子どもが継続したいのであれば参加させたい。(野上2年)
- ・中途半端にするのではなく、するならとことんさせたい。体が鈍っていると感じる。バス通学になると、それだけ部活動の時間に制限があると感じるため。(淮園2年)
- ・子どものやる気を応援したいから。(野上1年)
- ・子どもが行きたいと言うなら連れていく。(南山田2年)
- ・休日に家にいてもダラダラしているだけなので。また、上手になりたいと熱心に部活動に取り組んでいるので、練習や試合の機会を多く持たせてやりたい。(野上1年)
- ・送迎など特に負担に思っていないので。(野上1年)
- ・本人が部活動の取り組みに力を入れている。今までが部活動の費用がかからなかったので、費用面の負担が増えるのはある程度許容できる。両親共土日就業率が高いので、場所や時間によっては送迎が難しくなるかもしれない。(飯田1年)
- ・より専門的な知識や技術を学べる機会になると思うから。(南山田2年)
- ・子供はサッカーが大好きです。夢も大きいようです。できる限りサッカーをさせてあげたい。(野上1年)
- ・せっかく部活するのならばできる範囲で実りあるものにして欲しい。(野上2年)
- ・家でダラダラするので。(南山田2年)
- ・暇を持て余してるから。(東飯田2年)
- ・休日も活動したいと子どもが思うから。(南山田2年)
- ・コーチや試合にかかる費用は負担して、保護者も可能な限り送迎して、休日の活動を強化しないと平日の短い部活だけでは県大会では差が出てしまうし、九重、玖珠郡どの部活でももっと上を目指せると思うから…(淮園2年)

【参加させない】

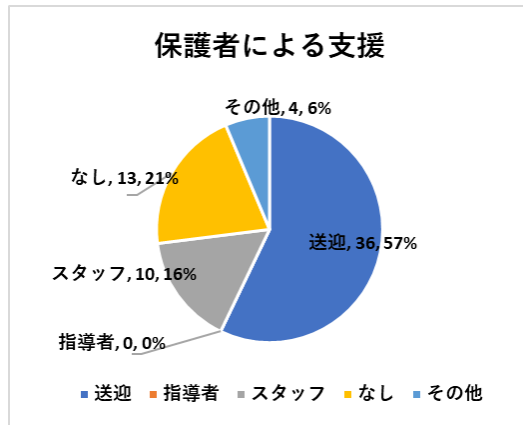
- ・社会体育活動をしているため。(南山田1年)
- ・お金、送迎の時間は凄く負担がかかる為。そこまでして部活に参加しなくて良いです。(野矢1年)
- ・仕事。(淮園1年)

- ・毎回の送迎はできないから。(淮園2年)
- ・土日も働いているので、送迎が大変。(淮園1年)
- ・休日は、親も子も休みたい。家族の時間を過ごしたい。(南山田2年)
- ・曜日に関係ない仕事をしている為に送迎など難しいです。(淮園1年)

【未定】

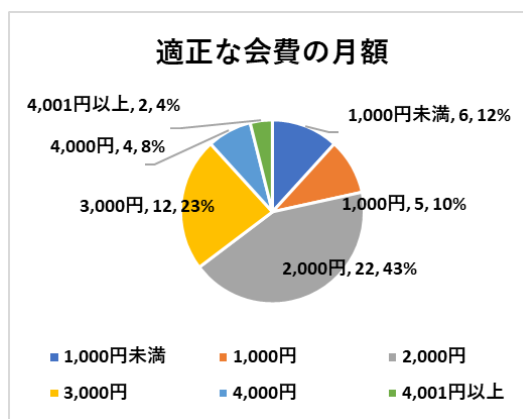
- ・仕事の関係で休日、送迎等が出来ない場合もある。(淮園1年)
- ・本人次第。(野上2年)
- ・子どもの意見によるから。(東飯田2年)
- ・会場まで送迎して頂いているので、助かっています。仕事をしているので保護者負担になると難しいけど、子供が参加したいのであれば負担になっても参加させるべきなのか。(野上2年)
- ・仕事がある日は送迎出来るか心配です。ない日は大丈夫ですが、他の子供を乗せたりするのは不安です。(東飯田1年)
- ・子供がやりたい部活動があるかわからない。また、あったとしても仕事の都合で送迎できるかわからない。(東飯田2年)
- ・本人がやりたいのならさせるが、休日のみの活動に費用を払うのは疑問だから。(野上2年)
- ・休日は家族で過ごしたいので、活動は無くても良いと思いますが、子どもが積極的に参加をしたいと言うなら協力はします。(東飯田2年)
- ・平日は学校で先生のもと部活をし、休日は地域で部活をするということの良さがわからない。先生方の負担を減らすことには大賛成ですが、これをしてどれだけ先生の負担がへるかわからないし、休日の活動は親の負担が増えると思う。このプリントの説明だけではよくわかりませんでした。(南山田2年)
- ・休日でも仕事がある場合あり。(南山田2年)
- ・会費に関しては、何事も経費はかかるので今と比べて大きな差がなければ問題ないと思いますが、送迎に関しては、すべてが保護者になると、仕事の関係で子供が部活に参加したいと思っても、断念させないといけないと思う。(南山田2年)
- ・観光業で土日仕事もあり、送迎が不可能だから。(飯田1年)
- ・家族との時間がなくなる懸念。平日への影響の懸念。(野上1年)
- ・参加者が少ない時に1人・2人のために指導してもらうのが申し訳ない。送迎が負担。(飯田2年)
- ・費用を払ってまでと考えると悩む。(南山田2年)
- ・突然のことなので返答しがたい。(淮園2年)
- ・費用や送迎 当番 役員 等が 心配。(野矢2年)
- ・近い場所なら送迎はできるが、遠方になると下の子どももいるので送迎が難しいと思うので。(野上2年)
- ・休日の部活動には、本人も少し疲れを感じているようです。(野矢1年)

3. 保護者による支援



休日の活動における保護者としてできる支援については、「送迎」が最も多く、36人(57%)でした。また、「スタッフ」として支援可能な保護者は合計10人(16%)でした。小学校同様、現段階では地域移行後のクラブ活動への保護者の積極的な参画は難しい状況にあると言えます。前記の記述回答から、「送迎」については、多くの保護者が不安を抱えているため、慎重な対応が必要だと考えます。

4. 適正な会費の月額(月4回、1回3時間程度の活動)



移行後の活動にかかる適正な会費の月額としては、「2,000円」が最も多く、22人(43%)でした。次いで「3,000円」が12人(23%)、「1,000円未満」が6人(12%)という結果となりました。適正な会費を2,000円以下と回答した割合が65%を超えていることから、休日の地域クラブ活動にかかる会費は可能な限り低廉に設定し、保護者の負担軽減を図ることが望ましいと考えます。

5. 地域移行について(自由記述)

■玖珠郡内に受け皿となる団体があるのか？生徒数の減少、部活に入らない生徒もいる中、大人数スポーツが成り立つかも懸念される。最近は星翔中との合同チームになる事も多く緑陽中学校のみのチームも難しい状況です。子供達が安心してスポーツ出来る環境を町としても前向きに整えていただきたい。(淮園1年)

■活動費用が高額になると参加させにくくなる。費用の補助があるとありがたい。スクールバスは運行してほしい。(町外への試合も含めた送迎)具体的な活動方針がよく分からないので、部活との違い、ケガや事故が起きた場合の窓口はどこなのか等、分からないことだらけです。子どもたちが安心して楽しく活動できるなら良いですが、土日のみ参加の子と平日から継続している子との溝ができないか心配。(野上2年)

■習い事もしてるので、試合等がないのであれば、休日の活動はなくても大丈夫かなと思います。(東飯田1年)

■ぜひお願いしたいです。(淮園2年)

■外部のコーチや指導者はありがたい。今も卓球部は外部コーチにかなりお世話になっている。子供も楽しそうで部活のやる気が変わってきた。ただ、ボランティアというのは

賛成できない。時間と労力をかけてくださっているのです。何らかの支援や報酬をお渡しできる体制を整えた方がお互いの為にいいと思う。(野上1年)

■先生の負担を考えると、地域移行した方がよいと思う。平日の部活動との兼ね合いを考えると指導者との連携も必要となるかもしれないので大変な面もあるかもしれない。送迎などは現行通りスクールバスが利用できるとよい。スポーツ振興センターの保険対象にしてほしい。(東飯田2年)

■学校で対応できないなら、休日の部活動は廃止でもいいのではないかなと思う。平日、休日で活動母体が違うことは真剣に部活動に取り組みたい児童に対してプラスになるのか疑問である。いじめ問題や事故などの相談窓口は、活動チームではなく別に作ってほしい。(野上2年)

■長期休業中も含め、休日に部活動をすることがそもそもおかしい、と学生の頃思っていました。しかし、子どもが休日もしたいと言うのであれば、その思いは尊重します。(東飯田2年)

■中学生で休日までする程の才能があればだけど、休日は休みたい気持ちもわかるので地域や保護者に協力してもらい無理に作って参加しなくても良いと思う。(南山田2年)

■地域移行ができない部活の対応は？(淮園2年)

■地域以降の効果については期待するが、活動地が、広範囲に渡ると送迎や移動時間の面で不安はある。(飯田1年)

■以前から地域移行の話は聞いてましたが、正直やってみないとわからないと思っています。令和8年度からといわずに、毎週とかではなく、月1回など、段階的に早めに行っていきながら、色々なことを決めて行く方がよいのではないかと思います。(南山田2年)

■わからない事が多い中でこの問いは回答しづらく思います。しかも団体行動の運動部限定の問いのような気がします。(野上1年)

■休日の部活動を中止するという選択肢もあるのか？(南山田2年)

■経歴や実績をしっかりと把握した上でご指導をお願いしたいです。(南山田2年)

■部活自体がなくなる気がする。クラブチームとかに入ればいいから。(淮園2年)

■休日の先生方の負担軽減とクラブチームに行かず学校の部活の方へ入ってくれて部活人数減少を抑えられる。学校で地域移行してくれれば学校行事やテスト期間での配慮などが可能であると思います。(淮園2年)

■いろいろ難しい問題がいっぱいですね。ただ、私たちは決まった事に従うしかないし、田舎なので交通機関もいろんな選択肢も少なくて…。いろいろな運動部、文化部が県や全国で活躍でき、九重町という名前が知られるよう支援していただきたい。ここでも…、ここだから、頑張れる！と思えるように。(野矢2年)

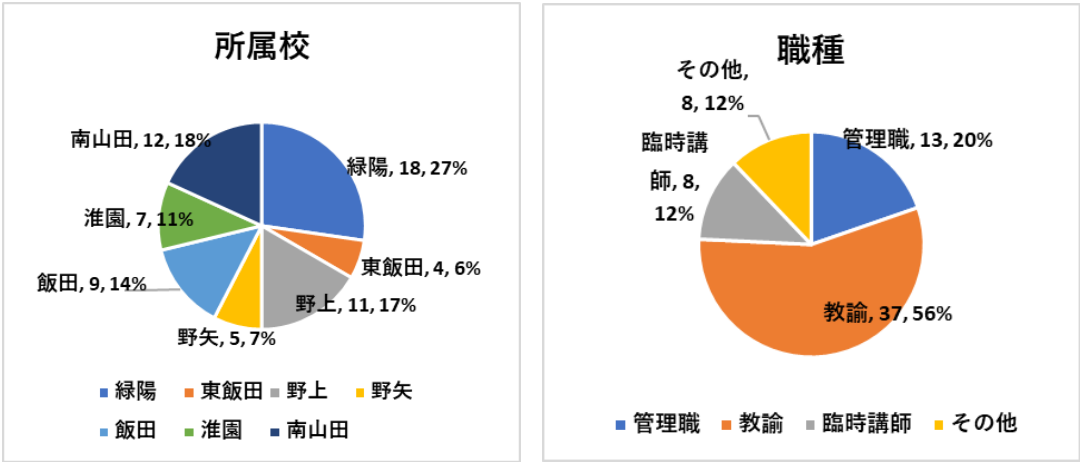
■保護者送迎となると負担が大きい。(南山田1年)

■本人にやる気がある限りはサポートしたいと思っています。(野矢1年)

V. 教職員等対象アンケート

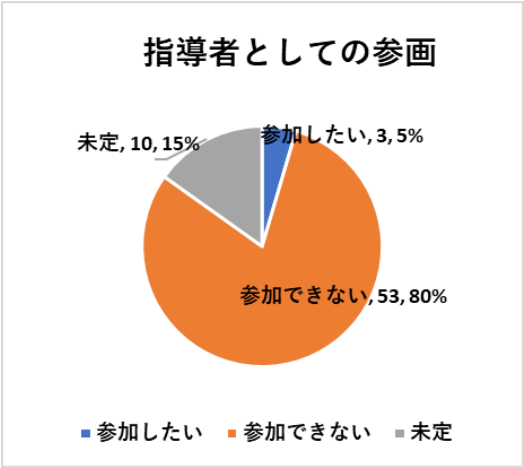
◎調査期間:2024.2.13(火)~2024. 2. 22(木)
◎調査対象:九重町立学校教職員 (104人)
◎回答状況:66名 (回答率64%)

1. 所属校

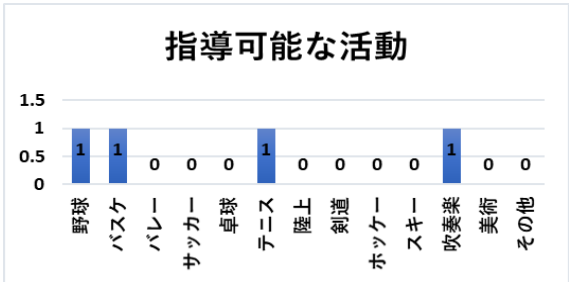


九重町立学校教職員より、合計66名の回答をいただきました。アンケート回収率は64%です。職種の内訳は、「管理職」が13名(20%)、「教諭」が37人(56%)、「臨時講師」が8人(12%)、「その他」が8人(12%)となっています。

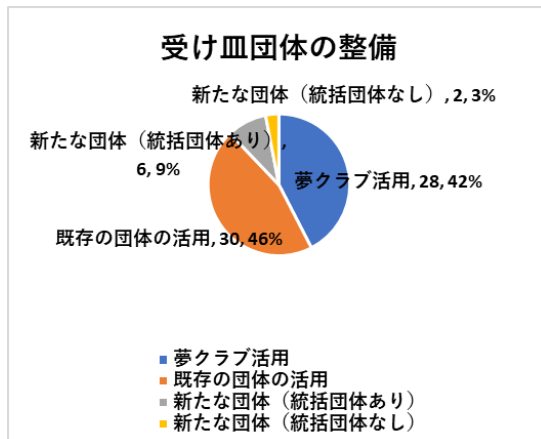
2. 指導者として参画の意向



これまで中学校の教員が担ってきた学校部活動が、休日に地域クラブ活動へ移行することに伴い、希望する教員は兼職兼業の許可を得ることで、これまで通り指導に携わることができます。しかしながら、アンケートによると、指導者として参加を希望する教員は3名(5%)に留まっています。また、3名の校種の内訳は小学校2名、中学校1名でした。教員の多くは、積極的に休日の活動に携わることを望んでいないことが分かります。

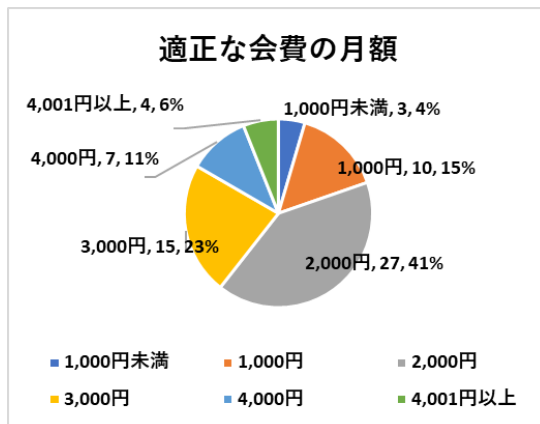


3. 受け皿団体について



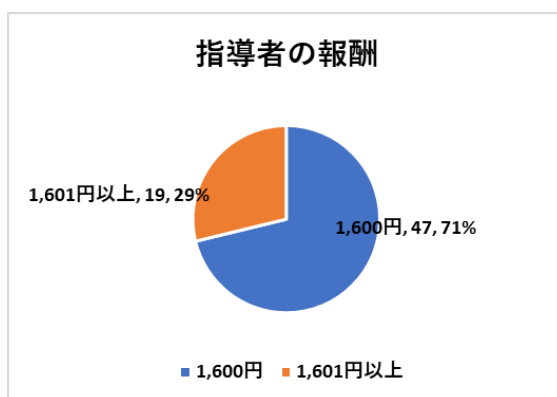
教職員対象には、休日の地域クラブ活動の受け皿として、整備可能な方法についての調査も行いました。回答の内訳としては、「既存の団体の活用」が最も多く30人(46%)、「このえ夢クラブの活用」が28人(42%)でした。「新たな団体の設立」は全体の12%であったことから、このえ夢クラブを含む既存の活動団体と連携し、スムーズな移行を目指すべきであると考えます。

4. 適正な会費の月額(月4回、1回3時間程度の活動)



移行後の活動にかかる適正な会費の月額としては、「2,000円」が最も多く、27人(41%)でした。次いで「3,000円」が15人(23%)、「1,000円」が10人(15%)という結果となりました。適正な会費を2,000円以下と回答した割合が60%を超えており、教職員の多くが、休日の地域クラブ活動の会費を可能な限り低廉に設定することを望んでいることが分かります。

5. 指導者の報酬



指導者に対する1時間当たりの報酬については、「1,600円」が最も多く、47人(71%)でした。時間1,600円は、部活動指導員に対する報酬と同等であり、業務内容も同等のものが求められるため、これ以下の設定は想定していません。一方、1,601円以上の報酬が妥当であるとの回答も19名(29%)あることから、指導者に対する待遇について再考する余地があります。

6. 地域移行について(自由記述)

■実現できるか不安です。(小)

■教育委員会におかれましては、完全移行を見据えた土日移行体制の構築を目指していただきたいです。また、土日移行+部活動は、生徒や保護者、移行先の指導者、学校、教職員の混乱が予想されるため、そうならないよう地域への周知をお願いいたします。(中)

■現段階で現実的な部分から移行を模索する方針はありがたいと思う。できれば、できるだけ早く完全移行することを希望する。(雇用の拡大、子どもがいろいろな選択・挑戦が可能、施設使用による収益増など、ヨーロッパの文化・スポーツ振興施策の良い部分を生かした移行ができないだろうか。)(中)

■現段階で一番現実的な部分からスタートしようという方針はありがたい。できるだけ早期に中学校教職員の部活動指導をなくしてほしい。(雇用の拡大、会場使用による収益増、子どもがいろいろな体験ができるなど、ヨーロッパの文化・スポーツ振興施策のメリット部分が活かせる地域移行ができるといいと思う。)(中)

■運動部、文化部とも移行していかなければ、運営に関わる職員の対応がバラバラになり学校の活動としては難しいのではないかと思います。できるところからとなれば、アンバランスが生じるが、実際には対応できる部活に限られることになることは容易に想像できる。教職員が指導者になると、希望する人のみに関わるという形になるのであろうが、それは負担軽減策として現実的なのか。部活を一旦白紙にして、体制が取れるもののみ開催するのが、負担軽減としては順当だと思う。しかし、子どもの側からの理解も得ていく取り組みも必要だと思う。(小)

■休日も部活指導をされている先生のご負担を考えると、地域移行はとても良いと思う。休日だけでなく、部活を完全に地域移行する流れができると、中学校教諭の授業準備時間確保につながるのでは。移行先の指導者は、土日のどちらかは休みにする、夏場はWBGTを計測して値に沿った内容の熱中症予防をするなど、生徒が体を酷使しないこと、命を優先にしてほしい。(小)

■生徒の安全や学校の施設を利用する場合の管理は誰がするのか等、実施に向けての課題はたくさんあると思います。現在実施している地域では、休日の学校の施設管理等は警備会社に委託をしていると伺いました。管理職を含め職員は誰も対応していないとのこと。学校職員の誰かに負担がかかるのでは地域移行とは言えないと思います。徹底した検討をしていただければと思います。(小)

■保護者の責任や協力の体制をしっかりと理解してもらう必要があります。(小)

■一刻も早く進めていただきたい。(中)

■指導者確保が最大の課題になろうかと思いますが、円滑に進むよう、学校は主体性を持って努力したいと思います。(中)

■地域移行について、学校の教職員がどのような関わりをもつようにすればいいのかが難しいのではないかと考えます。指導員との連携や、生徒間のトラブルなどの対応もあ

- るかと思うので、その際の対応を明確にしておく必要があるのかなと思います。(小)
- 平日と休日の連携が難しいのではないかと思います。土日のみではなく平日の地域移行も進めばいいと思います。(中)
- 平日だけ教職員が部活を見て、休日は指導員が見るとなると生徒たちがどちらの言う事を聞けばいいのかわからなくなるのではないかと思います。(中)
- 休日の指導者の指導と平日の指導者の指導が異なれば、生徒は混乱すると思います。指導者同士がある程度、話し合える場や指導のあり方の確認など共通理解する場も必要ではないかと思います。いずれは、年齢を問わず生涯に渡ってスポーツを楽しめる地域総合型のクラブへ移行できるような仕組みづくりが必要だと思います。また、財源をどうしていくか、他の先進地に学び導入を考えていくと良いと思います。(中)
- 以下のような課題があると思います。(中)
- ・教職員、保護者以外の方にも指導への参加の意思確認は行わないのか。
 - ・複数人で指導する場合の報酬は検討が必要。(団体ごとの承認も含めて)
 - ・指導者認定(『指導者』『審判』等資格保持を含めて)は各団体の保護者が行うか。
- 土曜日のみ。祝日、日曜日は無し。大会も土曜日だけに開催。(小)
- まずは社会教育に移行していけば良いと思います。(小)
- 部活の指導については協力したい思いもあるが、今はできない。複数体制で行わないと長続きしない。一人で行うと負担も大きいし、病気や用事のときに休みになってしまう。また、指導が行き過ぎたときに止めることもできない。また、指導者を広く募集して、集まった部から始めないと一斉スタートするといつまでも進まない。とにかく、早目、早目に進めることが大切であると思う。(小)
- 数年後には部活動を中学校から完全に切り離れた方があらゆる面においてすっきりすると考える。(小)
- これだけ少人数になれば現在の勝利優先の部活動に無理があると思います。放課後に好きな活動をすることで健康にもメンタルにも仲間関係も良くなる部活動が望ましいと思います。勝ちたい！と思う子どもたちを集めて勝つことを目的としたチームを作った方が良いと思います。そうでなければどちらの子どもにとっても不幸です。(小)
- 子どもたちが楽しんで休日でもしたいと思うなら。指導者が違うと子どもたちが戸惑うので戸惑わなかったらいいと思います。(小)
- 教職員が移行後の指導者になった場合も、手当はつけられるべきだと思います。(小)
- 子どもたちの思いを大事にする活動となってほしいです。(小)
- 学校との連携や人材面など、かなりハードルが高いと思います。(小)

おわりに

本調査を実施するにあたり、多くの児童・生徒、保護者、教職員の方々にご協力をいただきました。九重町部活動地域移行検討委員会では、今回ご回答いただきました貴重なご意見を参考に、「休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行」に取り組んでまいります。すぐに解決できそうな課題、移行を進める中で解決すべき課題等を精査し、望ましい移行に向けた取組に反映させていく所存です。

今後は、令和6年3月に策定いたしました「九重町の学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針」に基づき、本調査結果を参考に具体的な実施計画を作成し、指導者の確保、受け皿団体の整備、移行可能活動の精選等に取り組み、令和8年度からの完全移行を目指します。

ここのえの子どもたち、子どもたちに携わる全ての方にとって、意味のある地域移行を実現するため、今後もみなさまのご協力をお願いいたします。